

昭和二十二年六月十二日（第三種郵便物認可）
令和二年四月十三日発行（毎月一回十三日発行）

定価 五〇〇円

第943号

高 知 道 會
龍 跳 書 高

第七十六卷

5

月 号

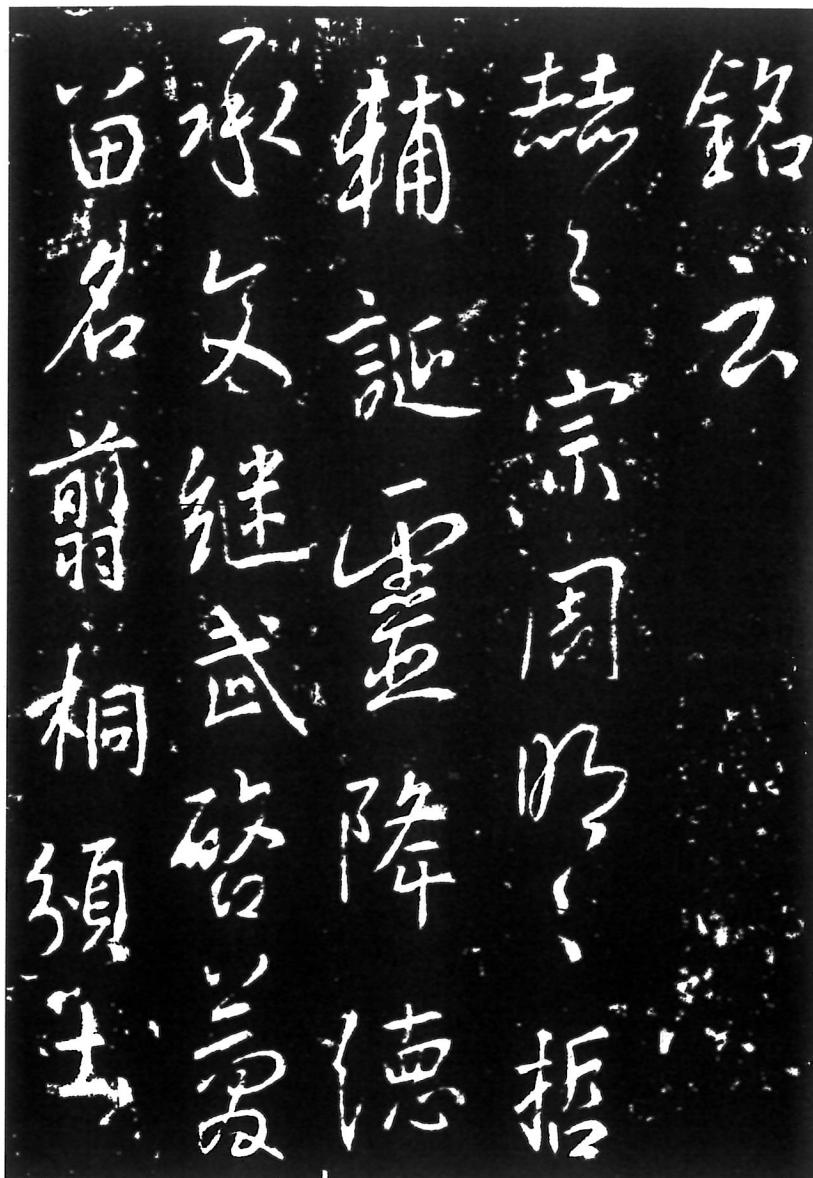
川
崎
翠
村
書

斗
樽
開
顏
有
喜
南
山
頌
叶
寿
無
疆

北斗樽開顏有喜南山頌叶寿無疆

晋祠銘

唐太宗



銘云／赫₃宗周明₃哲／輔誕靈降德／承文繼武啓慶／留名翦桐領士

晋祠銘

唐 太宗

唐、太宗（開皇十八年）は初代皇帝祖、李淵の第二子として生れるのちに父を助けて内政、外政に活躍する。

唐、王朝の基盤を築いた太宗は書の憧憬どうけいにも深く、特に王羲之の書を愛好し、自らも行、草体を得意とした。今回は晋祠銘について、学習しますが、この碑は太宗自ら文を撰書し、書体は行書である。

塚地桂峰書

不知細葉誰裁出二月春風似剪刀

不知細葉誰裁出
二月春風似剪刀

堅田清園書

池畔好風驅暑去
松間明月逐人來

池畔好風驅暑去松間明月逐人來

梅川桂龍書

隱心到來生

到來隱心を生ず

梅
川
桂
龍
書

戸
南
片
山
牖
當

南山
戸牖に当たり

福 原 曉 雲 書



游魚綠荷を動かす

出間桂堂臨

晋祠銘

唐太宗

啓慶留名

田啟

之江

江西澄翠書

經艸輒生長短顯
庭參簡貌橫猶紅

西山極山臨

李太師收音質十四
怡武帝王戎書善

廿二年夏月

須藤玲華書

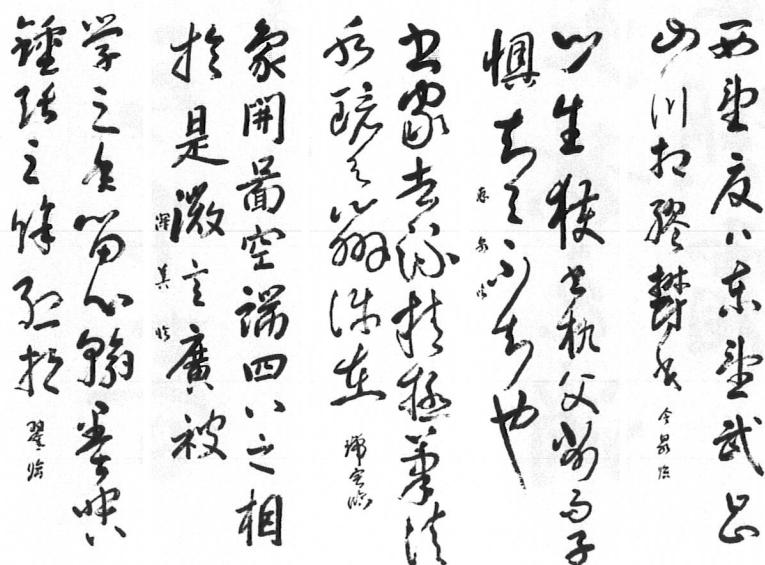
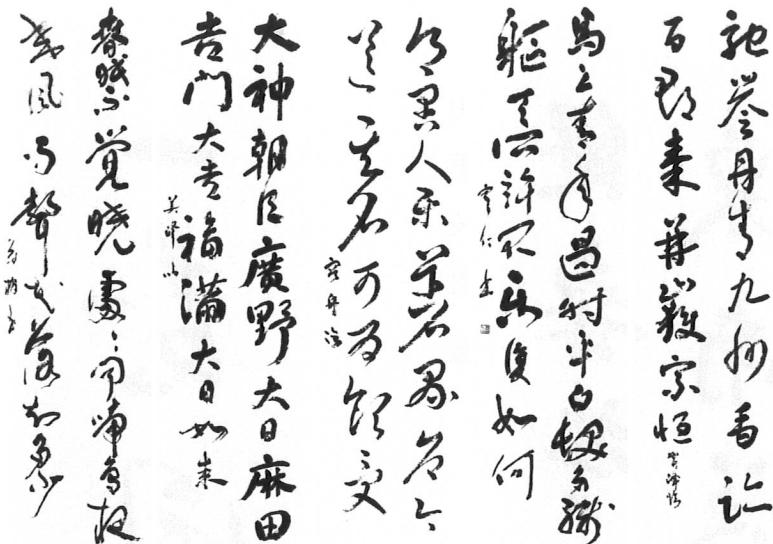
一
友
用
弓
下
君

於年二月

山下枝雪臨

繼
華
夢
垂
虹
秋
色
淵
東
南
泛
五
湖
霜

須藤玲華書



条幅当選作品 出間桂堂選評

★天位

弘田賀峰君||一幅の流れよし、原本をよくとらえている。
岡本空仁君||いつも達者な作品ですね。此の作一行目下部整理を

したい。やや多墨の感あり。

河村容舟君||息長く気脈はよい。これにきびしい線がほしい。

中平美峰君||平常心で気楽なところがよい。

大崎花梢君||章法巧い。変化に富み楽しめる作。

★地位

西森令泉君||線が良くなつてきて見えたえがある。バランスもよ

い。

津野恵泉君||大胆な作、次回が楽しみです。

川渕瑞容君||大きく書かれているが、自叙帖の特長はとらえている。

★人位

吉田深美君||良い勉強をされている。とても良く書かれている。

この調子で。

岡林翠君||明るい作品で、墨色美しい。線質、バランスも良い。

**作品は毎月20日必着
(必ず守って下さい)**

▷ 次回審査会 ◇

4月の審査は26日(日曜)午前9時30分に開始します。審査会場は**高知城ホール**です。
※審査終了後、総務会の予定です。

黑海

潮流

中学一年課題　廣末幽念書

都田

市園

習人[。]
字・

小学五年課題 山下枝雪書

の五

空月

柳

じ

小学三年課題 大原桂園書



あ

ゆ

小学一年・ようち・ほいく課題

市原處艸書

み
ち

学 校 名	小学校生活最後の一年です。					
六 年	方法を考えて、自分で課題を決め、					
級 段	学習記録を作りましょう。世					
氏 名	界に一つだけの、だから物に なりますよ。					

まどからは、昼休みの校庭
が見える。明るい校庭には、
サッカーをしている子たちが
いる。その中に、勇太のすが
たを見つけた。ありがとう。

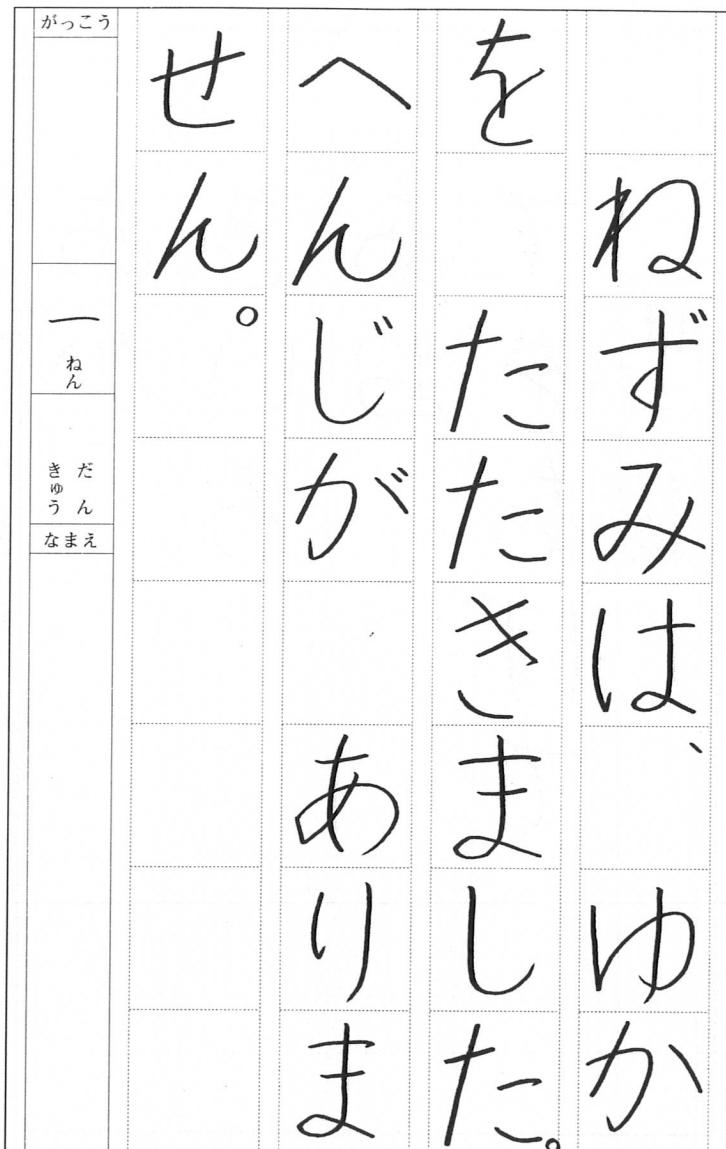
学校名	ふり	す。	あれ。もんしきよ	と何かが飛び出ました。	み上げたとたん、ふわっ	そして、ぼうしをつま
四 年	回	あわててぼうしを	う	ました。	ました。	
級段	まし	まし	う	ました。	ました。	
氏名	た。	た。	う	ました。	ました。	

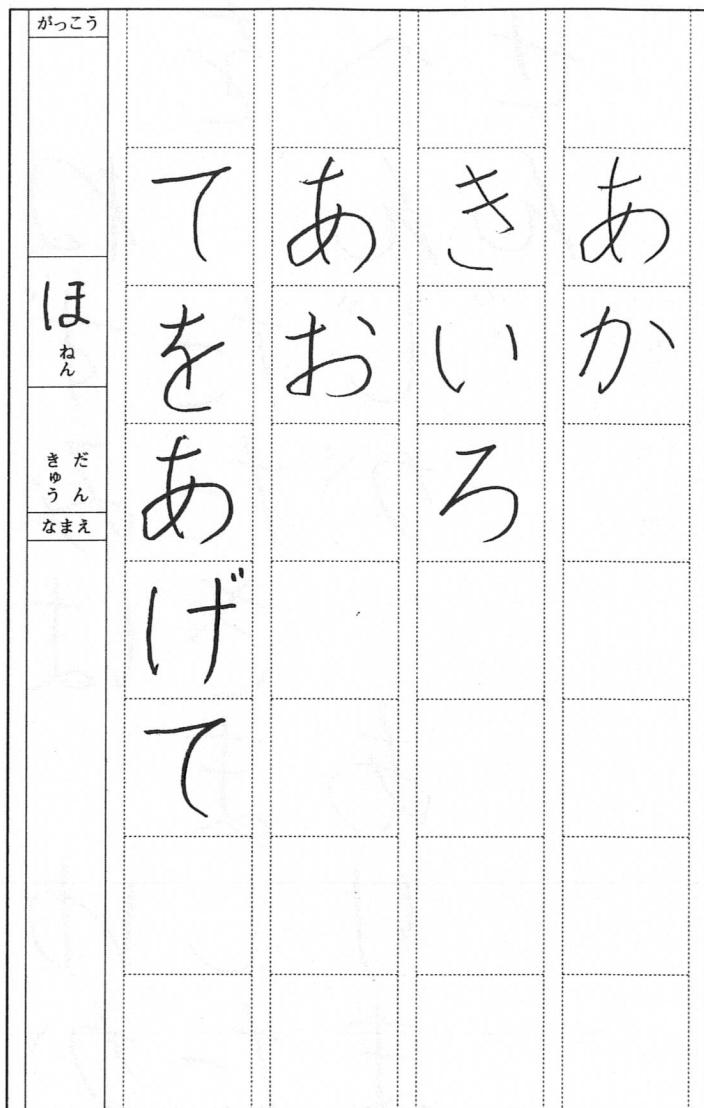
すいせんのそばの土が、
ちよろつとうごーいて豆

つぶみたいなかえるが
とび起きました。目をこ
すりながら、きよろきよ
ろして います。

学校名
三
年
級段
氏名

がっこう	つ	い	き	ね	お	ま	ち	や	、
二 ねん	と	き	を						
きだ ゅう ん なまえ	い			い	い	ど	お	日	。
	き	す		つ	は	。	お	さ	ま
	を	い		ぱ	い	。	春	風	。
	は	ふ	に	に	に	。	は	や	、
	く	う							





りんしょ
臨書

書道学習の一形態であり、主として優れた古筆、法帖などの古典の筆跡を学び、そこから書の美を感得し、表現技法、創作技術、鑑賞力などを習得することを目的とした学習方法である。一般に臨書の方法として三形態がある。結構を中心に学ぶ「形臨」、その古典のもつ性情や気分を中心に学ぶ「意臨」、そして、形臨、意臨を十分習熟した上で、手本を離れ、暗記してその文字を再現し、どれだけ理解できたかを試す「背臨」などである。さらに、発展的方法として、古法帖の文字とは別の文字、語句を素材として、その原帖に似せて書く「倣書」がある。また、手本としている古法帖の全文を臨書することを「全臨」といい、その一部のみを臨書することを「節臨」といつている。

(書学大系 研究篇より)

【認定証について】

昇段、昇級された方で認定証が入用の方は、左記によりお申し込み下さい。

記

★

★準師範

以下一般

三千円

二千円

一千円

(注意

申込時左記事項を必ずお知らせ下さい。

- ① 昇段の年月日
② 学生は学校名と学年
③ 一般は市町村名

(申込先 ご希望の先生に要項を明記した文書で直接お申し込み下さい。

〒七六一ー一〇三
土佐市高岡町丙五二一六

高岡郡東洋町河内三〇四
龍跳書道会 北代碧山

〒七八一ー七四一二

安芸郡龍跳書道会 福原暁雲

〒七八一ー二三〇一

高岡郡越知町越知甲二一一七一六
龍跳書道会 梅川桂龍

〒七八一ー〇二六一

高知市御畠瀬一七五

龍跳書道会 山下枝雪

別業居	別業居	別業居	別業居
幽處	幽處	幽處	幽處
<small>忠臣 君</small>	<small>忠臣 君</small>	<small>忠臣 君</small>	<small>忠臣 君</small>
別業居	別業居	別業居	別業居
幽處	幽處	幽處	幽處
<small>眞理 君</small>	<small>眞理 君</small>	<small>眞理 君</small>	<small>眞理 君</small>
別業居	別業居	別業居	別業居
幽處	幽處	幽處	幽處
<small>玄子 君</small>	<small>玄子 君</small>	<small>玄子 君</small>	<small>玄子 君</small>
別業居	別業居	別業居	別業居
幽處	幽處	幽處	幽處
<small>吉孝 君</small>	<small>吉孝 君</small>	<small>吉孝 君</small>	<small>吉孝 君</small>
別業居	別業居	別業居	別業居
幽處	幽處	幽處	幽處
<small>青苑 君</small>	<small>青苑 君</small>	<small>青苑 君</small>	<small>青苑 君</small>

(一段目)

福原曉雲
選評

恵花君||躍動感が充溢 筆力紙背にあり。福原曉雲選評

澄翠君||温健正整泰然として余裕の作。

李在上

李在上

李在上

李在上

李在上

玲華君||規模小ながらも、品位に富み味わい深い作。

綠翠君||書歴が物語る、搖ぎ無い作。

政徳君||緩急自在、端正にして情趣有り。用筆良し。

(二段目) 梅川桂龍選評

忠臣君||伸びやかな線で、堂々としている。

里花君||渴筆は気になるが、字々の構成は良い。

宏子君||慣れた線で大らかさがある。

真理君||いつもながら達筆で柔らか

な線質、頑張つてください。

道代君||丁寧に書いて温和な作。

(三段目) 塚地桂峰選評

昭生君||運筆良くまとまっている。

洋堂君||字々迫力あり。

吉山君||力みなく安定した作。

吉孝君||線が強く、良くまとまっている。

房君||まじめな作、力強い。

(四段目) 大八木洋女選評

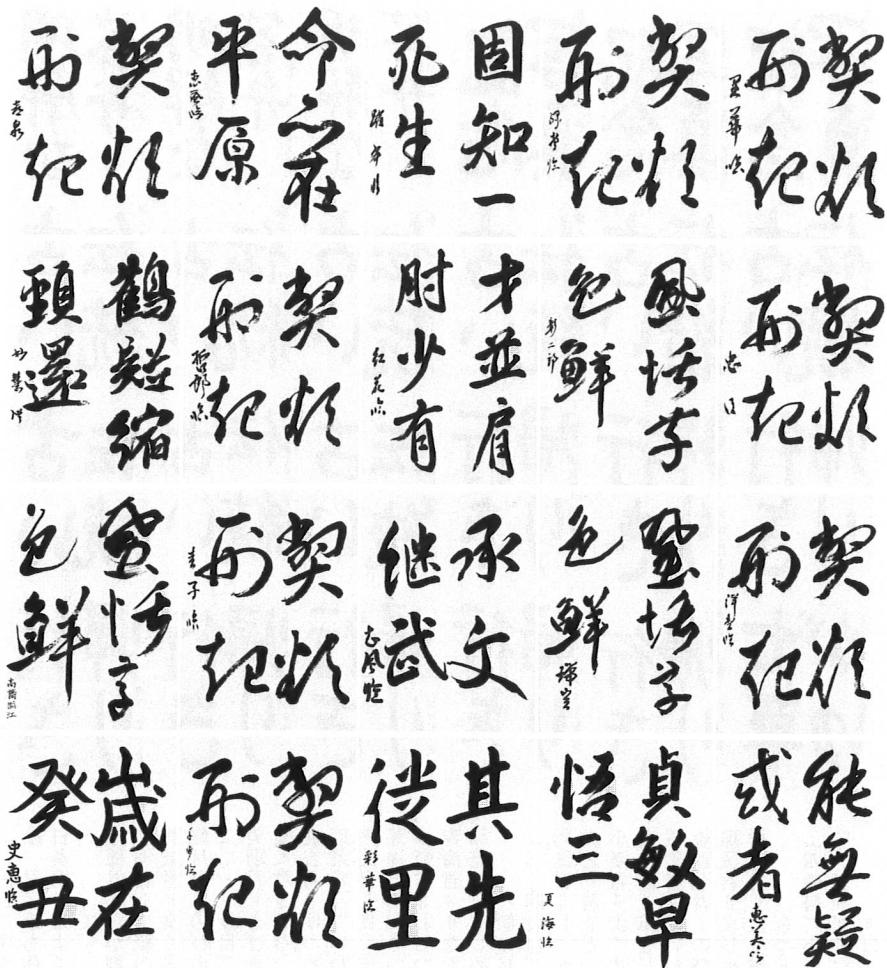
彩華君||丁寧な筆使いで良く書かれている。

千歩君||筆がよく暢びていて良い作品。

由紀君||力強い線で良く書けている。

律子君||少し墨量多いですが。

青苑君||今後楽しみにしています。



(一段目) 岡崎綠水 選評
里華君||シャープな線質で紙面明るい。雅号太過ぎ。

大黒仙雲 選評
綠堂君||線深く鋭い作で迫力あり。

躍翠君||省略された涼しい線で紙面明るい。雅号正確に。

惠風君||伸びやかで息長く妙味あり。

喜泉君||はげしい気力ある線で明るい。

(二段目) 岡崎綠水 選評
忠臣君||無理なく自然な流れの中で一紙をまとめ佳。

彰二郎君||達者な書きぶりは良いが少し落ちつきがほしい。

紅花君||明るい臨呼吸吸長く良い。

哲郎君||素直に臨し、線質もよい。

妙慧君||はじめて臨しているが、少し黒い、墨量に気をつけて。

(三・四段目) 野島桂山 選評
洋堂君||勢いあり佳。

瑞容君||厳しい線で作品が明るい。

志風君||余白が生きよくまとめていいます。

園江君||字々変化あり面白い作品。

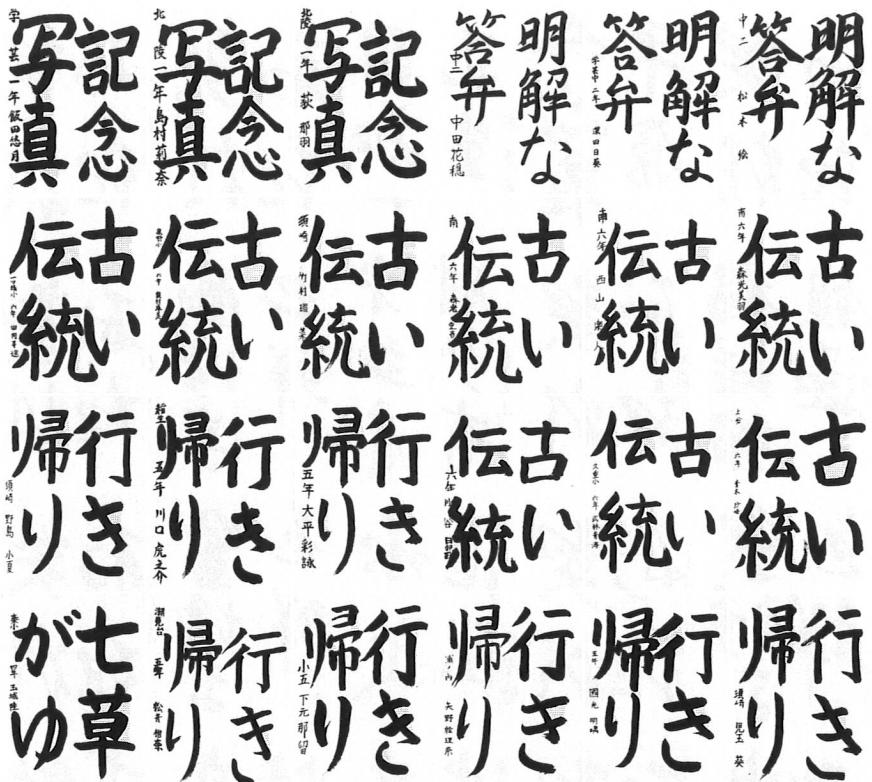
恵美君||形、筆使いは良いが少し肉厚な線もほしい。

(四段目) 武内美仁 選評
彩華君||落ちついて素直な作品。

千歩君||思い切りよく、伸びやかな作。

夏海君||筆力があり、よくまとめている。

史恵君||明るい作品。もう少し線に深さが欲しい。



(一段目) 中学部

佐々木港花 挑評
絵君||筆も体も動いて柔らかい。 日葵君||形よく書いていますが、もう少し体を動かして。

花穂君||線が細いので、もう少し筆の弾力をきかして。

明解な 答弁

中二 松本 伸

明解な 答弁

李善二年 萩田日昇

明解な 答弁

南六年 長谷川美智

明解な 答弁

南六年 西山 極

明解な 答弁

南六年 岩井良子

(一段目) 中学部

絵君||筆も体も動いて柔らかい。 日葵君||形よく書いていますが、もう少し体を動かして。

花穂君||線が細いので、もう少し筆の弾力をきかして。

那羽君||半紙の大きさをうまく使って立派です。

莉奈君||良くまとまっています。がんばって下さい。

悠月君||のびのびと書けました。

(二・三段目) 小学六年

岡林邦心 選評

美羽君||きびきびとして良い。

樂人君||おちついていて良い。

亜杏君||ゆつたりと書けている。

瑠菜君||ていねいで良い。

来美君||良くまとめている。

芽途君||おちつきのある作品です。

沙姫君||おちついて書けた。

青海君||すなおな作品で良い。

昂琉君||はじめて書いているが、「統」の字が右側と左側のバランスが残念。

(三・四段目) 小学五年

西山極山 選評

彩詠君||しつかりした線で、ていねいに書けています。

虎之介君||どつしりと落ちついた作品です。

小夏君||よくまとめています。

葵君||筆をじょうずに使っています。

明璃君||ていねいによく書けています。

絵理奈君||のびやかに書けています。名前もじょうず。

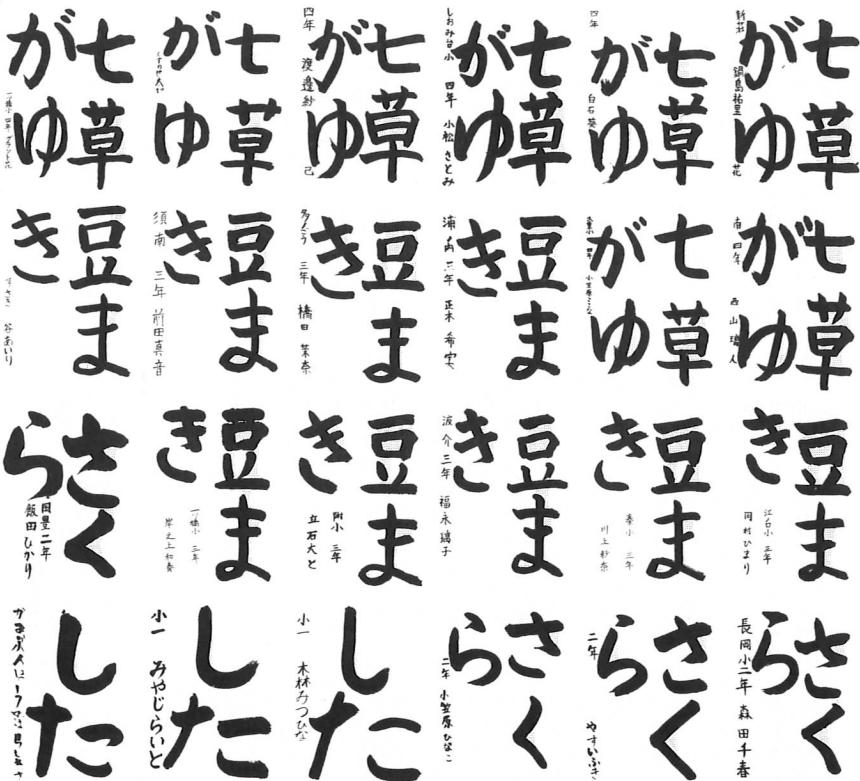
那留君||まじめによく書けています。

柑奈君||よく書けています。もう少し線を太くするともっとよくなります。

(四段目) 小学四年

市原處艸 選評

陸君||紙面にバランス良く、形良くおさめていて、すばらしい。



(一・二段目)

祐里花君||のびやかに書けていて良い。
葵君||筆づかい良く、大らかな作品です。

さとみ君||しつかりとした線で書けていますね。
紗巳君||「草」の形をもう少し工夫すればもっと良く

なります。「ゆ」は大らかで良い。

太陽君||形は良く書けていますが、もう少しおもいき
つて書いてみよう。

グラント花君||形がよくつかめていて、うまく紙面に
ここな君||ていねいに書いていますね。形も良い。

璃人君||元気に大きく書いていて良い。
(二・三段目) 小学三年 深瀬綠堂 選評

希実君||力づよくどうどうとしています。
茉奈君||しつかりした線で力強い。

真音君||ていねいに良く書けています。
あいり君||あかるくのびのびとしています。

ひまり君||線の最後までていねいに書くともっと良い。
紗奈君||紙面いつぱいで明るい。

璃子君||どつしりとして、ていねいな作品。
大翔君||良くまとめています。沢山書いて下さい。

和奏君||まじめに書いています。次の作品待っています。

(三・四段目) 小学二年 奥堂皓月 選評
ひかり君||力強くていねいに書けました。

千春君||明るくまとめています。
ふき君||ゆつたりていねいに書けました。

ひなこ君||のびく書けています。

(四段目) 小学一年・ようち・ほいく 大原桂園 選評
ひな君||明るくてていねいにかけました。
らいと君||のびと元気です。

ももか君||よくかけました。これからもがんばってね。

硬筆優秀作品

久重
朝倉
武林
松本
青海

浦ノ内
宮本
莉瑚
矢野結理奈

新莊
秦
玉城
陸

しお見台
多ノ郷
橋田
茉奈

南津
森野
華凜
美羽

須崎
多ノ郷
弘瀬英乃玲
小川
紗良

甲浦
浦ノ内
上田梨里香
川田
音緒

久礼
夜須
白石
暖乃



硬筆優秀作品

波介
川上
福永
璃子

甲浦
内
川田
せいば

うらノ内
ふじ田
とうじはらいちの
結愛

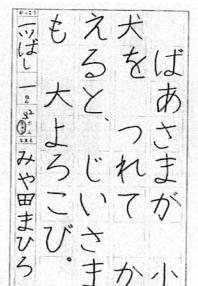
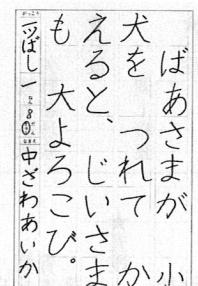
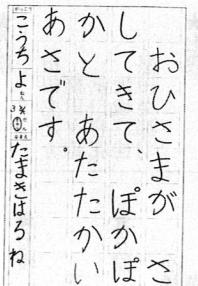
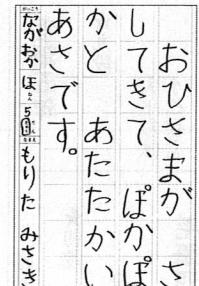
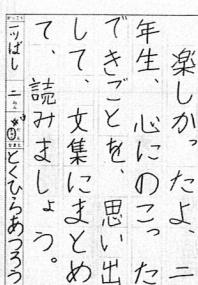
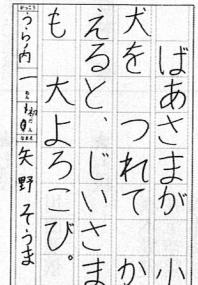
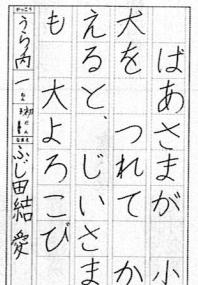
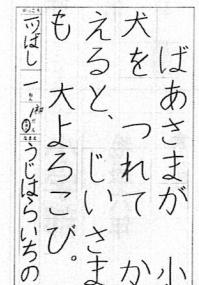
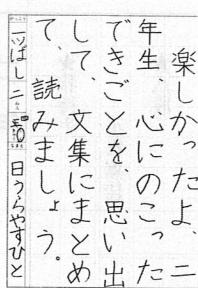
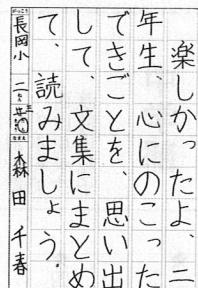
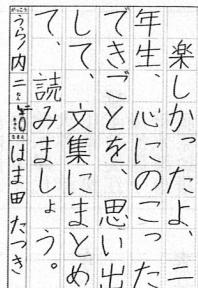
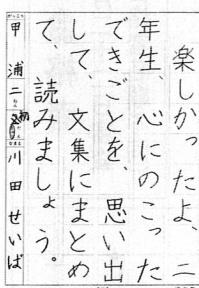
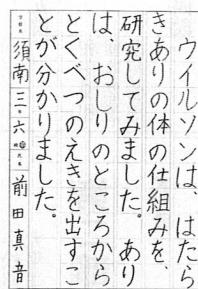
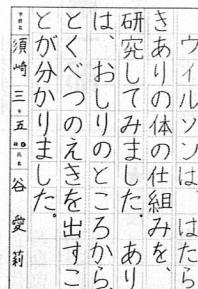
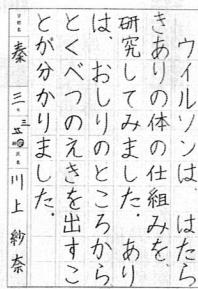
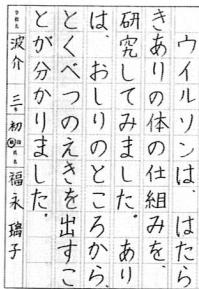
こうち
ながおか
もりた
みさき

須崎 前田
真音
愛莉

長岡
森田
千春

うらノ内
矢野
そうま

一ツばし
みや田
まひろ
中ざわ
あいか



春季昇段級試験合格者

(三月二十二日審査)

(合格者名順不同)

★四段		★五段		★六段		★七段		★八段		★九段		★十段	
西村眞理		和田風和 伊吹悠道 北村哲郎		山崎彰一郎 村上紅琰		山本恵歩		準師範		師範		藤原朱鳳 大崎紫陽	
★初段		第二部		第二部		第二部		中学部		一年		小学部	
山本美智子		橋本祝子 森岡康恵 小松照代 大平圭子		利谷喜一 浜崎洋輔 西森啓代 松本世津		久保地初 岩崎竹 岡林翠		渡部由紀 大原紀美子 西山亞梨沙 山本和美		橋本波美江 藤原勝子 掛水勝子 大原紀敏雄		山崎隆志 濱田幸子 大井房淳 鈴木輝代	
毛利恵子		★特待生 小松薰佳		山本心春		坂本凜		味元美穂		飯田悠月		荻那羽	
刈谷昂琉		★二段 武林青海		★五段 青木沙姫 松本美桜		★六段 坂本愛優 井上空陽		★七段 川田亜依		★八段 奥村來美 田岡芽途		渡邊彩巴 西山漁人 竹村瑠菜	
笠原彩葉尋乃		★四段 下元那留		★五段 辻岡季也 小笠原颯也		★六段 岡上桜良		★七段 矢野結理奈 國光明璃		★八段 堅田菜那 川口虎之介 浜口日花 大城三佳		毛筆六年 大平彩詠 小松慎吾	
★四段 グラント花星		★五段 西山璃人 竹内雄季		★五段 川崎陽菜穂 西村柚季		★五段 楠瀬太陽 渡邊紗己		★五段 小松さとみ 黄之瀬風 白石葵		★六段 王城陸 朝比奈美空 青木美那海 梅原広		毛筆四年 松井柑奈 前田じゅり	

★三段	大西果穂 武林青星 安江はな	小笠原伊織 小笠原恋菜	毛筆三年	★二段	長山英美 岡村栄茉莉 弘田せいな うえ村はるひ	田辺楓 森岡大陽 原田朋子	★三段	飯田ひかり	★四段	★三段	★三段	
★四段	堅田翔 押岡岳登 谷色汰莉	川崎天海	松浦由奈 宮本颯馬 前田真音	橋田茉奈 正木希実	二宮有佳子 上村彩月	谷口いろは 小笠原ひなこ 野島ひまり 安井ふき 岡上真里	谷口いろは 小笠原ひなこ 野島ひまり 安井ふき 岡上真里	森田千春	★二段	森田千春	★三段	★四段
★五段	奥崎せいま	毛筆二年	岸之上和奏	立石大翔	内田泰平 川上紗奈	福永璃子 岡村朋乃佳	川田せいば	西森はるひ	★初段	上村彩月	★一段	★一段
★六段	西山あい 宮地輝翔	山崎ひなこ 鍋島そう	森光陽菜	毛筆一年	森田築玖 内田平政	伊勢脇莉果 坂田愛優	坂田愛優 村田竣祐	西野文那 森田このは	★三級	福永璃子 岡村朋乃佳	★一段	★一段
★七段	大野愛結 青木沙姫 山下こはる 川田亜依	山下こはる 川田亜依	橋田夕海	毛筆一年	森田築玖 内田平政	伊勢脇莉果 坂田愛優	坂田愛優 村田竣祐	西野文那 森田このは	★八段	久保田結琳 渡邊彩巴 奥村來美	★九段	★特待生
★八段	浜口日葵花 児玉大介 大平彩詠 國光明璃奈	★六段	松本美桜	★九段	★特待生	★九段	★九段	★九段	★八段	★六段	★六段	★六段
★九段	浜口日葵花 児玉大介 大平彩詠 國光明璃奈	★八段	松本美桜	★九段	★特待生	★九段	★九段	★九段	★八段	★六段	★六段	★六段
★十段	上田梨里香 笠原彩葉	★九段	德平宗一郎	★九段	硬筆四年	★九段	玉城陸	中平暖乃 濱田ななみ	★八段	川崎菜穂 北村直亮	★七段	★七段
★十一段	★九段	★九段	★九段	★九段	硬筆五年	★九段	吉田りんか 森田歩 堅田那羽 岡村真哉	川田音緒 下元那留 吉田音緒 下元那留	★八段	★八段	★八段	★八段
★十二段	★九段	★九段	★九段	★九段	硬筆六年	★九段	矢野愛佳 西村思温 矢野愛佳	刈谷昂琉 小川紗良	★二段	★二段	★二段	★二段
★十三段	★九段	★九段	★九段	★九段	★特待生	★九段	吉田りんか 森田歩 堅田那羽 岡村真哉	川田音緒 下元那留 吉田音緒 下元那留	★初段	★初段	★初段	★初段
★十四段	★九段	★九段	★九段	★九段	★九段	★九段	吉田りんか 森田歩 堅田那羽 岡村真哉	川田音緒 下元那留 吉田音緒 下元那留	★二段	★二段	★二段	★二段
★十五段	★九段	★九段	★九段	★九段	★九段	★九段	吉田りんか 森田歩 堅田那羽 岡村真哉	川田音緒 下元那留 吉田音緒 下元那留	★一段	★一段	★一段	★一段

春季昇段試験担当

お知らせ

〔集約係〕

松下紫香
天野喜泉
別役美佐
岡本空仁

〔審査員〕

○印は責任者

○師範の部
出間桂堂

梅川桂龍

福原暁雲

大黒仙雲

出間桂堂

福原暁雲

大黒仙雲

福原暁雲

大黒仙雲

福原暁雲

福原暁雲

福原暁雲

福原暁雲

福原暁雲

福原暁雲

福原暁雲

○学童毛筆
中学～小学五年

大八木祥女
中平美峰

○佐々木港花
大原桂園

○岩河里華
西山極山

○江西澄翠
岡本志峰

深瀬綠堂

森本寿山

○学童硬筆
六年・五年

○小川理香
石川美水

森本寿山

○四年・三年

○塙地桂峰
河村容舟

○四年・一年

保育
幼稚

○市原處岬
野中恵花

〔会計係〕

隅田亘心

○第一部

岡林邦心

梅川桂龍

岡崎緑水

前田秀華

梅川桂龍

岡崎緑水

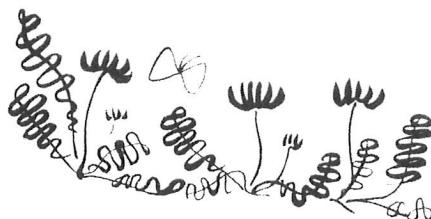
前田秀華

第63回龍跳展

搬入・7月13日(月)

会期・7月14日(火)～7月19日(日)

会場・美術館 県民ギャラリー



第893回 競書成績

○印規定・随意共通昇級

三月二十九日署益

条幅

審查出間桂堂

(※印写真版)

★推薦

※江西澄翠
※西山極山
※須藤玲華
※山下枝雪

★天位

※岡本空仁
※河村容舟
※中平美峰
※大崎花梢
※大木洋女
大八木洋女
中平幸仙
岩河里華
野中恵花
岡林邦心
大原桂園

★地位

※※※津野林泉
内桂香月
山脇佳月
岩村祥
中城知抄
奥田皓明
和田風和
森光望春
宮本キン子
原桂春
天野喜美子
岡村妙慧
高橋桜芳
岩崎竹山
深瀬綠堂
池芳春
水田紅子
伊吹悠道
大平圭子
山本恵歩
笠原圭子
坂本碧香
奥崎羅翠
大崎紫陽
大石千施

藤原りえ
岩谷紅花
丸田宏子
鎌倉春葉
氏原美泉

吉田深美
岡林翠
藤原朱鳳
田原昭生
今井真理
辻本里仙
佐竹江月
武政幽雅
下元玉泉
岡田史惠
久保地初
河野美佑
利谷喜代子
野中恵花
須藤玲華
江西澄翠
河村容舟
野島桂山
岩河里華

須崎高須
須崎知
須崎南
須崎筆
須崎
旭筆
須崎
旭
須崎
旭
審查
★師範
規定

弘田賀峰
奥堂皓月
大木洋女
市原伸艸
水田桂峰
塚地桂峰
原岡山
西山極堂
深瀬綠堂
大原桂園
下枝雪水
大庭桂紅
山下枝雪水
原岡本
中平美峰
岡本志峰
林邦心
桂春

大野見	須南	佐川	井口道代
旭筆	仁淀川	窪川	西村由香
佐川	佐川	仁淀川	大崎紫陽
仁淀川	窪川	窪川	藤原朱鳳
窪川	窪川	久礼	山脇佳月
久礼	須崎	須崎	楠目実子
須崎	北崎	北崎	浜上理奈
北崎	吾桑	吾桑	小野山美喜
吾桑	香北	香北	辻本里仙
香北	佐川	佐川	岡本美水
佐川	窪川	窪川	高橋伸水
窪川	窪川	津野	横山山智舞
窪川	窪川	津野	西村妙慧
窪川	窪川	久礼	西村真理
久礼	須南	須南	松浦明子
須南	須南	須南	田村昭生
須南	須南	須南	坂本絢子
須南	須南	須南	利谷喜代子
須南	須南	須南	田村喜代子
須南	須南	須南	山川百合
須南	須南	須南	元玉泉

大野見	佐川	安芸	山田
仁淀川	高知	高知	越知
窪川	宮本キン子	岡林	岡本薰山
仁淀川	大平圭子	川瀬裕容	川瀬裕容
藤原りえ	河野貴祐	滝下明美	滝下明美
須崎	中澤英子	久保地初恵	久保地初恵
大野見	高橋志風	森岡康惠	森岡康惠
仁淀川	大原紀美子	高橋志風	高橋志風
仁淀川	高橋園江	高橋志風	高橋志風
窪川	岡田史勝	高橋志風	高橋志風
東洋	前田伸枝	高橋志風	高橋志風
仁淀川	松島利恵	高橋志風	高橋志風
吉村久美子	濱田幸子	高橋志風	高橋志風
仁淀川	藤原敏雄	高橋志風	高橋志風
南国	藤中裕美	高橋志風	高橋志風
仁淀川	掛水勝恵	高橋志風	高橋志風
旭筆	山崎隆志	高橋志風	高橋志風
大野見	山本和美	高橋志風	高橋志風

出品票の名前は楷書ではっきり書いて下さい。



原 桂 春 氏



河 村 容 舟 氏

この度は師範に認定いただきありがとうございました。
出間桂堂先生はじめ諸先生方のご指導のおかげと深く感謝申し上げます。
今後、書に精進し、微力ですが本会の発展に貢献できればと思っております。
今後ともご指導よろしくお願い申し上げます。

邊地鶯花少年來未覺新美
人天上落龍塞始應春

この度は師範の認定をいただきありがとうございました。

出間先生ありがとうございました。

教室の皆様ありがとうございました。

まだまだ未熟でございます「精進せよ」の声を心得、頑張りますのでどうかよろしく御指導下さいます
ようお願い申し上げます。

牧用軍衣制宣義
洋装考典もたれ

のり代

2年
5月
規定

地名

氏名

段

級

のり代

2年
5月
隨意臨
は出典名

氏名

段

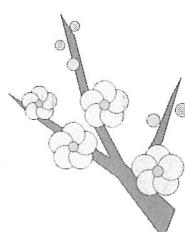
級



山本恵歩氏

居身百尺樓上放 眼萬卷書中

この度は準師範に認定していただき、ありがとうございました。
 これもひとえに、須崎書道クラブの諸先生方のご指導と温かい励ましのお陰だと、心より感謝しております。まだまだ未熟でございますが、諸先生方や先輩方に教わりながら、日々努力を重ねて参ります。
 今後共、御指導下さいます様よろしくお願ひ致します。



(新特待生紹介)

毛筆の部



小松 薫佳

今回は、特待生に選んでくださりありがとうございました。小学生の頃から特待生を目指して頑張ってきたので大変嬉しいです。ご指導いただいた先生に感謝し、これからも頑張っていきたいと思います。



荻那羽

特待生に選んでいただきとても嬉しく思います。

私は毛筆の昇段試験で、二回ほど昇段できず、今回「特待生になれないのではないか。」という不安もありました。が、先生の教えのもと、何度も何度も書き、こうして特待生に選んでいただっき、とても自分に自信がつきました。増井先生、ご指導いただきありがとうございました。やつと硬筆、毛筆、両方とも特待生になることができました。増井先生のおかげです。

硬筆の部



森光亜杏

今回は、特待生に選んでいただきありがとうございました。私は保育園の年長から硬筆を習い始め今までがんばってきたので、特待生になつてとてもうれしく思います。これからも、字をきれいに書くことを忘れないようにがんばります。



西山楽人

この度特待生にさせていただきありがとうございました。何年も習っている間に嫌になることもあつたけれど続けてやつてきて良かつたと思います。これからも上達できるよう頑張っていきたいです。

(新特待生紹介)

のり代

2年
5月
毛筆

校名

保学年

氏名

段級

のり代

2年
5月
硬筆

校名

氏名

段級

今回は、特待生に選んで頂きました。そのころは特待生になれないと思っていましたが、段が上がっていくにつれて特待生になりました。だから今回特待生になれとてもうれしいです。ありがとうございます。



田岡芽途

今日は、特待生に選んで頂きました。私は一年生の時から硬筆を習い始めました。そのころは特待生になれないと思っていましたが、段が上がっていくにつれて特待生になりました。だから今回特待生になれてもうこれからも、字をきれいに書いていこうと思います。



西森佳花

特待生にしていただきありがとうございます。日々、文字を大きく書くことに注意していましたのでうれしかったです。中学生になつても先生から教えてもらったことをいかしていきたいです。



渡邊彩巴

特待生に選んでいただきありがとうございます。私は保育園のころからこう筆を習つてきました。特待生になれるか、すごく心配だったけれど先生や友達が勇気づけてくれたおかげで特待生に上がるることができました。本当に感謝しています。



久保田結琳

(新特待生紹介)



奥 村 来 美

今回は特待生に選んでいただきありがとうございます。
保育園年長から硬筆を習い始めました。
六年生最後に特待生になれたことを嬉しく思います。
これからも字を大切にし、綺麗に書く事を続けていきたいと
思います。
本当にありがとうございました。



弘瀬 英乃玲

この度は特待生に選んでいただきありがとうございます。
私は保育園の時からこう筆を習い始めました。

いろいろむずかしい漢字、漢字の「とめ」はね」気を付けて書く漢字などたくさんありました。書けない漢字もたくさんありました。でも、あきらめなかつたおかげでいろんな漢字と出会うことができたし、こうして特待生になることができました。これからも字をきれいに書き、こう筆でがんばっていきたいと思ひます。



連絡・問い合わせ・送り先等

新規入会申込と会費の送金先

「龍跳誌」冊数変更の通知先

〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎一三三三一一

隅田亘心

龍跳書道会

振替口座番号

01690-3-31925

電話 (〇八八九) 三五一〇九七一一番

月例作品の送り先

〒783-0081 南国市片山西四九〇

西山極山

電話 (〇八八八) 八六五一八八五七番

「龍跳誌」の内容について

〒781-6410 安芸郡田野町一四五六一二九

廣末幽念

電話 (〇八八七) 三八一五一〇八番

編集についての連絡先

〒785-0010 須崎市鍛治町六一八

江西澄翠

電話 (〇八八九) 四二一三〇六七番

・送本についての連絡先
(冊数の相違等については当方へご連絡下さい。)

〒785-0055 須崎市大谷二〇四

野中恵花

電話 (〇八八九) 四七一〇七二一一番

鳴呼! 幽峰さん
龍跳書道会はまた貴重な人材を失った。それはこの二
ヶ月逝去された田中幽峰氏のことである。

幽峰先生は昭和六年生まれで享年九十。

龍跳書道会を創始された竹村子雀先生の現存する数少ない弟子の一人で、温厚篤実、いつもニコニコ優しく穏やかであった。僕らは尊敬と親しみをこめて「幽峰さん」と呼んだ。

私がやつと小学生の手本を書き審査会に顔を出させてもらいうようになつた平成の始め、幽峰さんはすでに師範でも先輩格であったが少しも偉ぶるところもなく、弱輩の私達の考え方耳を傾けて下さつた。

そんな幽峰さんも若い頃は気力旺盛で、何とか子雀先生の元気なうちに師範に合格したいと頑張つていたが夢叶わず、頭を丸めて再挑戦し、子雀先生歿後の翌年合格されたと、幽峰さんの弟子である廣末幽念会長が語つて下さつた。

また幽峰さんは楷書を能くする人でもあつた。幽峰さんの楷書には風格があつた。それは永年に亘つて鄭道昭の臨書で鍛えた筋金が一本通つていてからである。各種展覧会の前には下見会が行われる。その時指導に当たられた(故)谷渕先生はいつも「幽峰さんの楷書はもう見んでもよい。はい、次。」とフリー・パス。それに異を唱える人は誰もいなかつた。幽峰さんへの思いは次から次へと沸いてくる。しかし、もうその人はいない。今でもあるんなつっこい笑顔で話しかけてくれそうな気がしてならない。
ご冥福をお祈りする。

—合掌—

一一〇一〇・三・二六

瓊象

月例競書課題

保育	年	二年	三年	四年	五年	小学六年	年	二年	中学三年	半紙随意	半紙規定	一般条幅	部別 締切日
	み	あ	人	夕	五月の空	ペン習字	田園都市	海流黒潮	任意	南山當戸牖	任意	五月二十日締切	
ち	ゆ	形	ぐれ	魚	大きな船	池の木立	学校放送	海の風景	任意	澧水映園林	任意	六月二十日締切	
た	ろ	安	魚	つり									
こ	ば	全											

会費の送金について

会費：半年分 3,000円／1年分 6,000円

1ヶ月の龍跳誌郵送料

(幸便搬送の方は手料不要)

11冊以上は次の計算による。(1ヶ月分)

Ⓐ	1冊～3冊	80円
Ⓑ	4冊～8冊	150円
Ⓒ	9冊・10冊	210円

例) 12冊 ⓒ+Ⓐ = 290円×月数
 17冊 ⓒ+Ⓑ = 360円× “
 30冊 ⓒ×3 = 630円× “

◎会費と龍跳誌手料は原則として半年分または1年分前納のこと。

◎送金は次の何れかへ
 ・〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎133-1 隅田亘心
 ・振替口座番号 01690-3-31925 龍跳書道会
 (お問い合わせ) ☎ 0889-35-0971

○月号(○冊)より○月号まで○ヶ月分
誌代 ○円 / 手料 ○円

と記入のこと。

印刷所	発行所	発行人	編集室
須崎市東古市町二一一六 電話(六八九)四二一〇二四四 (有)笛岡印刷所	龍跳書道会 電話(六八七)三八一五二〇八	廣末幽念(本部) 安芸郡田野町一四五六一九 電話(六八七)三八一五二〇八	中江前野北代碧山 平美澄秀桂山 峰翠華
			廣末幽念